

第1回

世界食料デー 浜松大会

10.27 土 開場 / 13:30 ~ (開会14時)

会場 / 浜松クリスチャンセンター

浜松市西区神ヶ谷 2048-3 ※バス停「遠州ストア大平台駅」より徒歩3分 (駐車場あり)

毎年10月16日は国連が定めた
世界の食料問題を考える日

「世界食料デー」ってどんな日?

世界の飢餓や食料分配の不均衡などの問題は、私たちの食生活と関連があります。飢餓がほとんど無い日本で、食料の60%を海外から輸入し、また大量に廃棄していることが、世界の飢餓問題にも大きく影響しているのです。世界の一人一人が協力し、もっとも基本的な人権である「すべての人に食料を」を実現するため、栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決するアクションを呼びかけています。

海外のおはなし

トークゲスト：ジェローム カセバ

日本国際対策機構協力団体 ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ 代表



コンゴ民主共和国出身。2012年に国際基督教大学大学院を卒業。学生時代から日本国際飢餓対策機構東京事務所にて、パートタイムスタッフとして勤務。2013年7月に当機構よりコンゴ民主共和国に派遣。パートナーNGOとして、現地法人(ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ)を設立し、飢餓・貧困に苦しむ方々への支援を行っている。主な活動は、元国内避難民と村人によるVOCモデルコミュニティ開発の支援、孤児や危機に瀕する子ども達への給食支援など。

コンゴでどんなことをしているの?



ハンガーゼロは、現地パートナー、ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ(HOLC)と協力して、上カタンガ州のブエトで、地域住民によるコミュニティ開発(VOC)の取り組みを支援しています。2013年にルブンバシの地元教会と協力して実施したVOCセミナーを受講した元国内避難民のリーダー、パメラ氏によって2014年にブエトのルブア村でVOCモデルコミュニティが始まりました。HOLCのスタッフが励まし共に歩んできた甲斐があり、以前は1日に1食を得ることも困難だった村人達は、今では、1日2食を確保することができるようになりました。また、共同農園の運営、家畜の飼育、子どもの教育などのコミュニティ開発も順調です。ルブア村から始まったこの取り組み(VOC)は、チャンプブとルンキンダという近隣の2つの村へと広がっています。「わたしから始める世界が変わる」の精神で、村人達自身が地域の改革をリードしていくために、HOLCのスタッフは、年2回、地域のリーダートレーニングを実施しています。

ゴスペル

チャビィ & ポイントオブ浜松ゴスペルクワイア



今年で結成15年ほどになる。現在活動メンバーは100名を超え、市内最大のクワイアへと成長。名前の由来には「浜松に、神様からの特別なポイントがおかれますように☆」という願いが込められている。「GOSPEL(ゴスペル)=神からの良き知らせ」という、ジャンルだけではない意味を持つ、この素晴らしい音楽の中でそれぞれの「存在」や「声」が、必要とされていること。そしてこの「ギフト」に感謝すること。を、 motto に現在も活動を続けている。

合唱

グレイスキッズクワイヤー



浜松市内の教会へ通う幼児から高校生までの子ども達によるクワイヤー。グレイスライフチャーチの主催により2013年結成。教会でのコンサートやイベントのほか、地域イベントや施設慰問などでも活躍中。力強く純粋な子ども達の歌声は聞く人々に癒やしと感動を届けている。

受付・会場設営・PA・ブース販売等のボランティアを募集しております。下記までお問い合わせください。



ボランティア大募集!!

